

# 「受け入れると言っていない」

## 尾鷲市議会 尾鷲市長がれき処理質問で市長

六月議会で議決した「未来のまちづくりみちづくりフォーラム・ハイスクールサミットin東北」への中学生派遣を中止し、旅費を減額した案件では、岩田市長らが本会議で謝罪。議員からは執行部の責任追及が相次ぐなど紛糾した。

会や市民の意見を聞きたない。受け入れるとは言っていない」と答弁した。

【尾鷲】尾鷲市議会臨時会は十一日開会し、平成二十四年度一般会計補正予算案一件を審議。採決の結果、全会一致で原案通り可決して閉会した。

予算案は三千五百八十一万円の追加で、当初予算からの累計は九十六億四千八百九十一万円。内訳は、清掃工場二号焼却炉の損傷に伴う補修工事費三千六百二

十二万円の増額と防災学習推進事業四十一万円の減額。本会議と予算決算特別委員会では、二号焼却炉の補修と運転停止に関連して、震災がれきの広域処理に質問が及び、三鬼和昭議員が「現実的に受け入れられる可能性はわずか。精査していただきたい」、南靖久議員が「紀北町でも懸念がある。市民的な合意が難



しく、受け入れるべきではない」と表明。岩田昭人市長は、「補修をして少しでも受け入れられる状況なら、議上程議案について答弁する岩田昭人市長（手前右）  
尾鷲市議会